

商品名 メコバラミン注射液500 μ g「トーフ」 添付文書情報

一般名	メコバラミン0.5mg注射液	薬価	61.00
規格	0.5mg 1管	区分	
製造メーカー	東和薬品	販売メーカー	東和薬品
薬効	3. 代謝性医薬品 31. ビタミン剤 313. ビタミンB 剤（ビタミンB 1 剤を除く） 3136. ビタミンB 1 2 剤		

メコバラミン注射液500 μ g「トーフ」の用法・用量

〈末梢性神経障害〉

通常、成人は1日1回1アンプル（メコバラミンとして500 μ g）を週3回、筋肉内又は静脈内に注射する。ただし、年齢及び症状により適宜増減する。

〈巨赤芽球性貧血〉

通常、成人は1日1回1アンプル（メコバラミンとして500 μ g）を週3回、筋肉内又は静脈内に注射する。約2ヵ月投与した後、維持療法として1～3ヵ月に1回1アンプルを投与する。

メコバラミン注射液500 μ g「トーフ」の効能・効果

〔1〕末梢性神経障害。

〔2〕ビタミンB12欠乏による巨赤芽球性貧血。

メコバラミン注射液500 μ g「トーフ」の副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

1. 重大な副作用：

1) アナフィラキシー（頻度不明）：血圧降下、呼吸困難等のアナフィラキシーを起こすことがある。

2. その他の副作用：

〔1〕過敏症：（0.1%未満）発疹。

〔2〕その他：（0.1%未満）頭痛、発熱感、（頻度不明）発汗、筋肉内注射部位の疼痛・硬結。

発現頻度は製造販売後調査を含む。

メコバラミン注射液500μg「トーフ」の使用上の注意

【重要な基本的注意】

本剤投与で効果が認められない場合、月余にわたって漫然と使用すべきでない。

【小児等】

小児等を対象とした臨床試験は実施していない。

【適用上の注意】

1. 薬剤投与時の注意：

- 1) 光分解を受けやすいので、開封後直ちに使用するとともに、遮光に留意すること。
- 2) 筋肉内注射時：組織・神経などへの影響を避けるため、次の点に注意すること。
 - ・ 筋肉内注射時同一部位への反復注射は避けること。なお、低出生体重児、新生児、乳児、幼児、小児には特に注意すること。
 - ・ 筋肉内注射時神経走行部位を避けるよう注意すること。
 - ・ 注射針を刺入したとき、激痛を訴えたり、血液の逆流を見た場合には、直ちに針を抜き、部位をかえて注射すること。

【取扱い上の注意】

本剤は光分解を受けやすいので、アンプルは使用直前まで遮光容器内に保存すること。

【保管上の注意】

室温保存。



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』